

「被災者支援システム」の4つの特徴

① 地方公共団体の立場で、本当に必要な機能をすべて含んでいます

震災の実体験の中、救災・復旧復興業務に携わる職員自身が開発したシステムをベースに現在まで改良を積み重ねてきました。地方公共団体が救災・復旧復興業務を遂行する上で必要な機能をすべて搭載しており、実際の業務での有効性も実証済みです。

② GISと連携したことで、さらに力を発揮します

被災者支援システムとGISが連携したことで、さらに活用場面を広げることができます。(被災状況分析はもとより、大規模面災害における対応や避難行動要支援者関連システムとの連携も可能。)

③ 地方公共団体汎用システムです

このシステムは、地方公共団体情報システム機構が提供しておりますので、全ての地方公共団体が無償で利用できます。

(動作推奨環境)

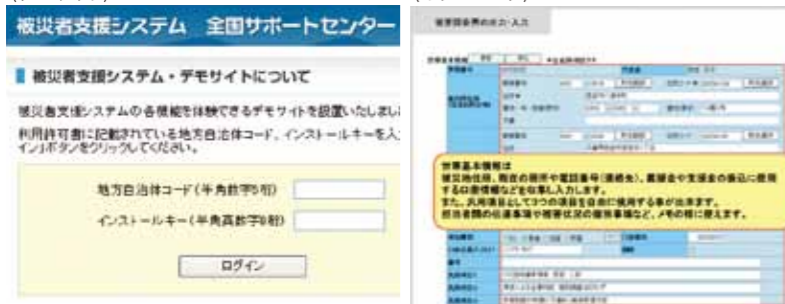
サーバ環境	
OS	Linux Fedora9, Linux CentOS5.2以降
Webサーバ	Apache2.2.9以降
Script言語	PHP5.2.6以降
データベース	PostgreSQL8.3.5以降
WebGIS	GISエンジン MapServer5.4.2
連携を導入する場合	DBエンジン PostGIS1.5 (PostgreSQLのバージョンに依存) GIS関連データ 住所辞書(※)、背景地図
クライアント環境	
ブラウザ	Internet Explorer7.0~11.0 Google Chrome 41.0.2272.89m以降 Mozilla FireFox 36.0.1以降 Safari 5.1.7以降
PDF表示(外字対応)	SkyPDF Viewer/Standard/Professional
管理帳票表示	Microsoft Office Excel 2007/2010/2013/2016

※住所辞書とは、住民基本台帳等で管理している住所情報(住所コード)に位置座標を対応づけたデータ(CSV形式ファイル)のこと。

④ デモサイトとeラーニングを公開中

導入前のシステム試行や、担当者向けの操作研修に活用できるデモサイトとeラーニングをインターネット上で公開中です。

(デモサイト)



(eラーニング)



詳細は下記のホームページでご確認ください。
https://www.j-lis.go.jp/rdd/hisaisyasiensys/cms_9098.html

被災者支援システムとは

◆阪神・淡路大震災以降、東日本大震災はもとより、各種災害事例の教訓を反映し続けている「被災者支援システム」

被災者支援システムの原点は1995年に発生した阪神・淡路大震災に遡ります。当時、西宮市庁舎も大きな被害を受けましたが、職員自らが被災者を支援するシステムを構築することで、被災者、復旧・復興支援業務に大きな力を発揮しました。

さらに、東日本大震災での被災者支援業務対応での実経験、教訓、情報化ノウハウなどを反映した当該システムは、汎用Webシステムとして地方公共団体に無償で公開・提供されております。

システムの導入や問合せについては、被災者支援システム全国サポートセンターがサポートを実施します。

問合せ先

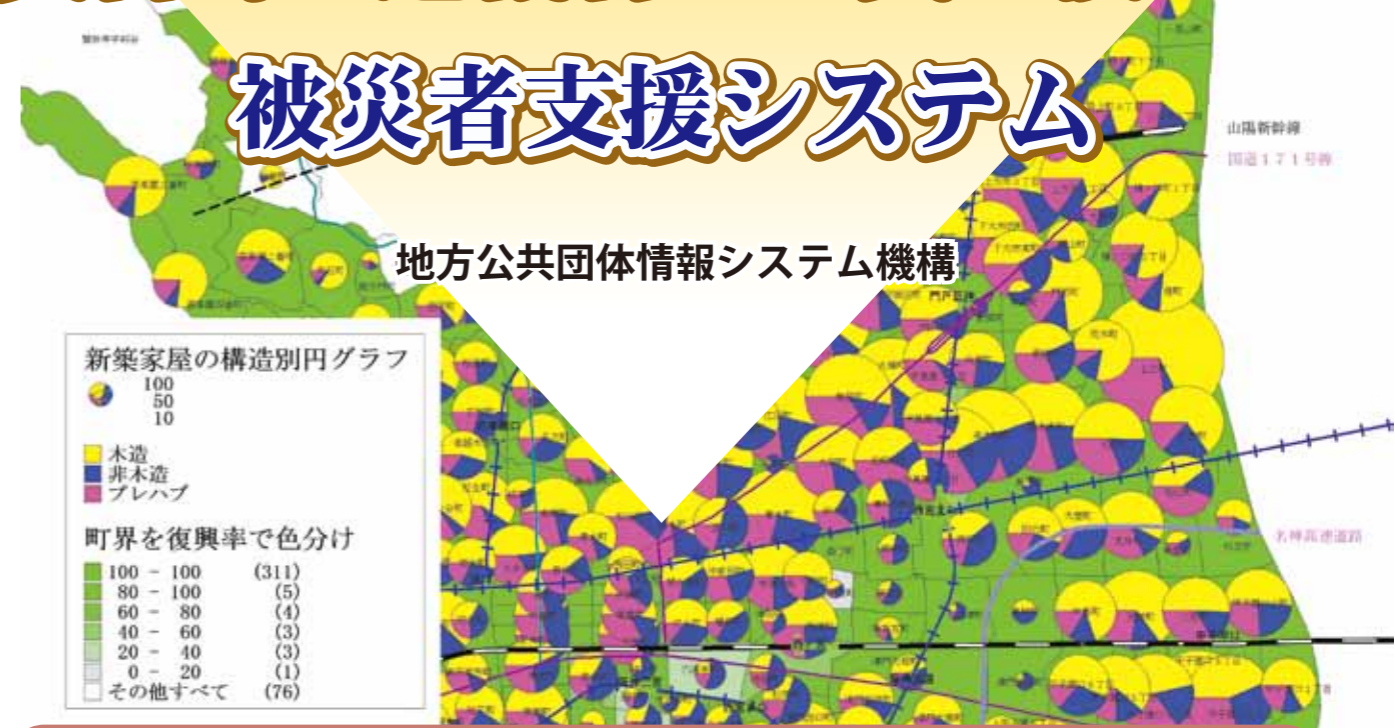
●被災者支援システム全国サポートセンター
(運営主体：西宮市情報センター)
〒662-0934 西宮市西宮浜1丁目31番地 NICC内
電話 0798-32-8866 / FAX 0798-32-8865
e-mail hss@ml.j-lis.go.jp
URL <http://n4c.jp>

●地方公共団体情報システム機構
〒102-8419 東京都千代田区1番町25番地
電話 03-5214-8002
URL <https://www.j-lis.go.jp/>



災害時の危機管理に真に役立つ

被災者支援システム



◆大規模な災害や事故が発生したとき、地方公共団体は何をなすべきか？

新たな災害が起きる度に、特に、東日本大震災をきっかけとし、改めて全国の地方公共団体に問い直されています。役所の施設、機能が損なわれようとも、被災者となった住民の保護、支援を速やかに実施しなければなりません。どのような理由であろうとも、決してなござりにすることはできません。

◆情報の収集・集約・共有のためのシステム化こそが最重要ポイント

災害発生直後、被災者を直ちに救護・支援していくためには、被災者に関する各種の最新情報を迅速に収集・整理・集約していかなければなりません。

また、災害からの復興は長期間にわたる業務とならざるを得ません。そのためには被災者に関する各種の情報をシステム化することにより、庁内外で情報共有できるしくみの構築が不可欠です。

◆被災住家等台帳の機能拡張をオプションで追加
被災住家等台帳のCSV取り込みや被災者台帳との名寄せ処理が可能になり、店舗・倉庫など非住家家屋の調査票も出力ができるようになりました。

※政令指定都市を含む地方公共団体でのご利用が可能です。

防災関連システム、日本初！
災害に備えてシステム連携を進めるために標準化を実現！

(今後の基礎自治体における被災者支援業務の迅速且つ正確な履行のために)

災害業務支援システム



避難所関連システム

避難所の入退所情報を管理するシステムです。被災者台帳の情報を基に、避難者の基本情報を登録することが可能です。またネットワークが整備されていない避難所では被災者の情報をエクセルファイルで管理し、随時システムに反映させ、連携を図ります。

種別	名称	住所	避難者数	備考
避難所	中央	東京都中央区	100	高層ビル
避難所	西側	東京都中央区	50	公園
避難所	東側	東京都中央区	20	学校

地域情報プラットフォーム 被災者台帳管理ユニット準拠

本システムは、地域情報プラットフォーム相互接続確認イベント第13期において、被災者台帳管理ユニット準拠製品の第1号として登録されました。

検索	入力	検索キーを入力して検索(半角英数字)
氏名	住所	性別
生年月日	月	日
連絡先	連絡先	連絡先



仮設住宅管理システム

仮設住宅の管理をはじめ、入居申込みや抽選処理を支援し、被災者支援システムとの連動で仮設住宅の入退去等を管理するシステムです。

仮設住宅ID	名称	住所
0001	仮設住宅	東京都中央区
0002	仮設住宅	東京都中央区
0003	仮設住宅	東京都中央区

緊急物資管理システム

救援物資等の入出庫を管理し、避難所関連システムとの連動により、必要な物資を適切に供給することを支援するシステムです。また、備蓄品などの一括登録や保存管理、避難所からの要望を登録する発注処理も可能です。

品名	数量	場所
食料	1000	避難所A
飲料	500	避難所B
衣類	200	避難所C
寝具	150	避難所D

被災者支援システム

災害業務支援システムの中核をなすシステムで、住民基本台帳を基盤にして被災者の氏名住所等の基本情報に加え、住家等を含む被災状況全般(被災者台帳)を管理します。り災証明書の発行はもとより、各種支援制度(自治体独自の制度を含む)や義援金の処理等にも対応し、被災者支援状況の総合的な管理が可能です。

- 被災時の氏名、住所等の基本情報
- 被災状況や避難先住所等の連絡先
- 個人番号制度への対応
- 被害認定調査票の印刷
- り災証明書、被災住家等証明書の発行
- 被災者台帳(個人)の履歴管理
- 避難者受入情報の管理
- 大規模な面的災害による被害状況の一括処理

被災者支援システム 総合メニュー

被災者台帳管理システム	検索・入力	検索
被災者台帳管理システム	検索・入力	検索
被災者台帳管理システム	検索・入力	検索
被災者台帳管理システム	検索・入力	検索
被災者台帳管理システム	検索・入力	検索

犠牲者遺族管理システム

災害による犠牲者、ご遺族の方の宛名、続柄などを管理するシステムで、被災者支援システムと連動することにより、犠牲者名簿の作成や、追悼式、慰霊祭等に必要の遺族情報の管理を支援します。

氏名	住所	性別	年齢
山田 太郎	東京都中央区	男	45
山田 花子	東京都中央区	女	42
山田 次郎	東京都中央区	男	15

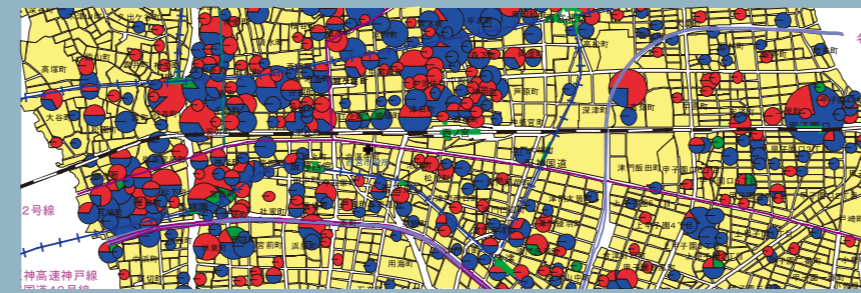
被災予測等・復旧復興関連システム

被災者支援及び災害復旧復興の一環として、GISを利用した被災状況や復旧復興状況の集計・分析を行うためのシステムです。その他にも風水害や台風、竜巻などの被災予測(シミュレーション)や他のサブシステムの地図連携が可能です。

項目	数値
被災者数	1000
被災家数	500
被災面積	10000
被災金額	100000000

避難行動要支援者関連システム

避難行動要支援者に関する台帳の検索や地図上から避難行動要支援者の検索・抽出を行うシステムです。被災者支援システムと連携することで、避難行動要支援者の被災状況の把握が行えます。地図データなどのGISに必要な環境がない場合でも避難行動要支援者に関する台帳の利用は可能です。



倒壊家屋管理システム

住民からの倒壊家屋等の解体申請の受付や瓦礫搬入券の発行といった一連の作業を管理するためのシステムです。

管理番号	申請者氏名	住所	申請日	解体区分	発注日	業者名
0000002	山田 太郎	東京都中央区	H20.04.15	H20.04.15	H20.04.15	(株)山田建設
0000003	山田 太郎	東京都中央区	H20.04.15	H20.04.15	H20.04.15	(株)山田建設